



その25

# ＜考える力＞

スイッチでは、(出来る.分かってはいるのに)「考えてない」と思っただ行動に関しては、ヒントのみを出すようにし、やり直しもあります。なので、みんな挨拶一つにしても、慎重に考えています☆いい緊張感を感じます。その姿勢に対して、受け摂る側も見逃さない様に緊張をして対応しています。考える力と自主性は、身に付いています!

子ども達の意見を重要視することで、思いを伝える事の意識が高まっている気がしています。

「考える力」は、

教えられて伸びることではなく、経験の積み重ねと、問われる環境にあるかないかでも大きく変わります。

経験をしたことを要素にして、問われる事(問題を定義される事)で考え、その考えたことを言葉や行動にすることで認識し理解することが出来ます。 この繰り返しの積み重ねが、「考える力」をつくれます。

経験がないと、考える要素にはなりません

「考える力」をどう身につけて行く? (スイッチ方式)

- 1.身に付けて欲しい事に関して、導入はかなり手厚く伝えます。
- 2.経験数を重ね、理解できたかの目星を付けて、声かけを減らしていきます。
- 3.理解が出来ているけど意識が出来ていない場合は、自分で気づくように、「やり直し」等をしていきます。  
(褒め方)→大げさに褒めます!
- 4.完全に把握が出来るようになったら、子どもからの発信を待ち、目で合図をします。  
(褒め方)→OK!位。 (把握は出来ていて意識の問題の段階なので出来て当然!)
- 5.「完璧」になったら、無意識でも出来るように、最後の後押しで厳しい声掛けになります。意識付け☆

理解や認識・把握と言う事が苦手な特性を持っているのは承知の上です! だからこそ、そこにたどり着くまでを厳しく、だけど丁寧に伝えます。いつまでも、何でも大げさに褒めていると、褒められることに慣れてしまい達成感などが生まれ無くなり向上心が無くなります。 その子の力として、出来て当然の事であればむやみに褒めず「ありがとう」位が丁度いいんです☆ なんでも褒めることが、褒めて伸ばす事ではありませんよね!

★問われない、一人でやらないと考えられません! 個人差はありますが、年齢相応の経験は積み重ねていますし、知識となっています! その力をどう引き出すか。(大人が)先にやらない! やってもらう! 「○○やって〜」でいいんです☆ そして、いい意味でほっといてあげてください。とにかく、「見守る」「待つ」事です!



その10

今日の活動ポイント!

# ＜楽しく活動＞

「グループ行動」/「報連相」/「聞き取りと理解力」/「休憩」/「自主性」/「言葉使い」等々……。

それらを踏まえ、まとめたような活動! = ＜楽しく活動力＞ になりました! 個性と特性、性格なども含め、その子その子なりの向上と成長を実感しました☆

指示されたことをやるのは当然ですし、みんなほぼ完璧に出来ます☆ それ「+α」の部分を大事にしています☆ 今やスイッチの主旨にもなっています、「考えて行動」です! 子ども達も「考えて行動をする」ことに慣れてきていますし、「一人で考えて行動をする」という楽しさも感じてきているように思います。

小学生の高学年、中高生になれば自我は強くなっていますからね。 「一人行動=自由」という認識及び理解も出てきています。ただ、「スイッチの中での活動と言う事=制限がある」と言う事は、自由だけと見通しと安心感があるようです。「カードを持つての一人ウォーキング」は、みんな生き生きと行きます! 報告もばっちりです☆ 逆に、最低限度の指示や声掛けにすると、聞く耳を立てるようになってきた気がします☆